

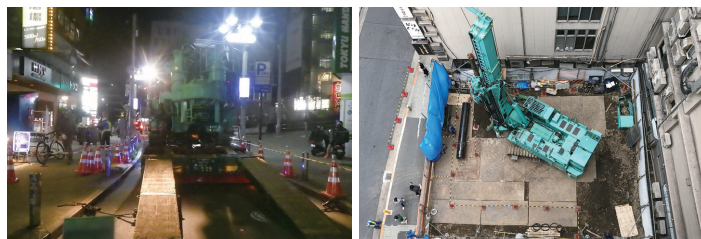
e-pile next

**施工経験豊富な当社だからこそ、
様々な現場条件・設計条件にお応えします。**

某開発計画

本件は渋谷駅周辺の繁華街に建設される地上7階建の物販・オフィス・飲食店舗の商業ビル計画です。ご依頼をいただいた際に既存杭の存在と想定位置の情報を聞き検討を進めておりましたが、現場での試掘状況から、当初の検討内容では既存杭に近接してしまう事が判明したため、既存杭に干渉せず、基礎を極力小さくしたいというご要望もあり1柱1本の検討が必須条件として求められました。狭隘敷地のS造7階建計画のため大きな引抜耐力が必要、且つ繁華街のため前面道路常時使用不可ということで、まずは重機選定に困難を要しました。机上で搬入計画や施工計画を何度も行い、元請様との現場打合せを重ね、日中は車・人通りが絶えないため、夜間の搬入と、夜間に場内での重機組立解体を条件として、自社所有最大杭打機DHJ-45での施工と、e-pile next工法の最大杭径φ508.0、最大拡翼径Dw1250を駆使した設計で1柱1本の課題にお応えするご提案ができ、本件をご採用いただくことができました。実施工に於いても全ての杭をスムーズに設計深度まで確実に貫入し、高い経済性と確かな施工品質をご提供することができました。

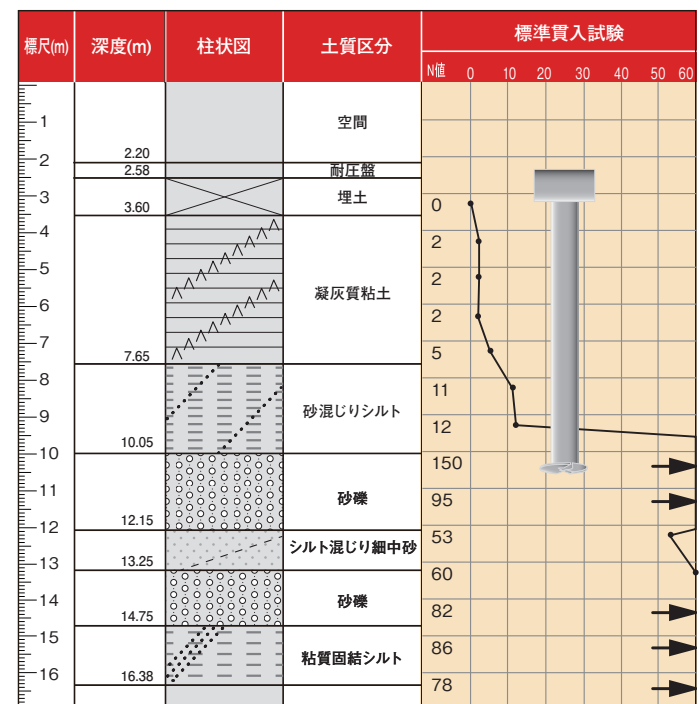
元請様には搬入誘導や養生鉄板、近隣への安全対策など
多大なご協力いただき、安全且つ無事に予定工期通り完工できました。



工事概要

工事名	某開発計画	杭 径	φ508.0 mm
施工地	渋谷区宇田川町	拡翼径	Dw 1000 mm、1250 mm
用 途	物販店舗、オフィス・サービス、飲食店舗	拡頭径	—
構 造	S造 地上7階	深 度	SGL -10.9m
建築面積	652.34 m ²	支持力	2.250kN ~ 3.200kN
工 期	2022年9月26日～2022年10月3日	本 数	7 本

ボーリング柱状図



国土交通省大臣認定工法

・全ての鍵は杭先端にあり

**公共土木・公共建築での活用拡大
国土交通省「NETIS」**

・登録番号: KT-160071-A

・国土交通大臣認定
TACP-0483 砂質地盤(硬質地盤含む)
TACP-0484 粘土質地盤

・日本建築センター
BCJ評定-FD0540-01 砂質地盤
BCJ評定-FD0541-01 硬質地盤
BCJ評定-FD0542-01 粘土質地盤

・日本環境協会
エコマーク認定 08 131022号

基礎評定(引抜支持力)
砂質地盤
硬質地盤
粘土質地盤

■ 全ての鍵は杭先端にあり

杭基礎は建物荷重を支持地盤へ伝達させる最も重要な役割であり、故に、杭先端拡翼部の貫入(掘削)性、変位・変形・破断などを発生させない高い性能が要求されます。

■ 貫入性の問題を・・・「**変型穴**」により解決しました。

■ 拡翼変形の問題を・・・「**特殊部**」により解決しました。

■ コストの問題を・・・「**自社施工**」により解決しました。

■ 高力構造／拡翼断面図

(両面溶接) (特殊部／分割構成)

■ FEM解析図

杭本体 特殊部(厚肉材)

建築・土木・鉄道、さまざまな場面で活躍しております。

e-pile

検索

11月は「下請取引適正化推進月間」～適正な 価格転嫁で 未来を築く～

普及・啓発事業

中小企業庁及び公正取引委員会は、下請取引の適正化について、下請代金支払遅延等防止法（以下「下請法」という。）の迅速かつ的確な運用と違反行為の未然防止、下請中小企業振興法（以下「下請振興法」という。）に基づく振興基準の遵守を指導すること等を通じ、その推進を図っています。特に、毎年11月を「下請取引適正化推進月間」とし、下請法の普及・啓発事業を集中的に行っています。

① 下請取引適正化推進講習会の開催
（公正取引委員会との連携事業）

オンライン（適正取引支援サイト）により、親事業者の下請取引担当者等を対象に、下請法及び下請振興法の趣旨・内容を周知徹底します。

② 適正取引講習会（テキトリ講習会）の開催
（中小企業庁独自事業）

発注側企業と受注側企業との適正な価格に基づく取引を推進するため、受注側企業の経営者・担当者対象とした「価格交渉サポート」、発注側企業の購買・調達担当者対象とした下請法の遵守に向けて、様々な取引事例や違反事例を中心に解説した「下請法」のオンライン講習会を開催いたします。

③ 下請かけこみ寺の利用促進
（中小企業庁独自事業）

「下請かけこみ寺」（全国48ヶ所に設置）では、中小企業の皆さんが抱える取引上の悩み相談を受け付けております。問題解決に向けて、専門の相談員や弁護士がアドバイスを行います。

④ 広報誌等への掲載・掲示
（公正取引委員会との連携事業）

政府広報（新聞各紙、インターネット）、ホームページ、メールマガジンを通じた広報都道府県や中小企業関係団体、事業者団体等の協力による機関誌等を通じた広報

⑤ 下請取引適正化推進シンポジウムの開催
（中小企業庁独自事業）

下請取引適正化の推進を図るため、下請法に詳しい弁護士による基調講演、取引条件改善や働き方改革に向けた企業・行政の取組紹介のほか、中小企業の適正な取引環境の実現に向けたパネルディスカッションを行う下請取引適正化推進シンポジウムを開催します。



▲経済産業省HP

※詳しくは経済産業省のホームページをご覧ください。

ワンポイント 健康コラム 免疫力を高めよう!

季節の変わり目は体調を崩しやすいとよく言われますが、朝晩と昼間の気温差が激しく、風邪などをひきやすくなります。対策としては、日頃からの生活習慣・食事習慣を見直し、免疫力を高める習慣をつくるのが大切です!



免疫とは?

私たちの体は、異物が体内に入り込むと色々な方法で守ろうとします。まず、口や鼻から異物が入り込むと、「咳」や「くしゃみ」で排出しようとして、気道を通り抜けてしまった場合には、胃液で対応します。強い酸性の胃液によって、異物・病原体を殺菌するのです!また、皮膚には常在菌があり、これが病原体の感染を防いでくれます。傷口から病原体が侵入することもあります。健康な状態の皮膚は、病原体から体を守ってくれているのです。これらの防御で、侵入を防ぎきれなかった病原体に対応してくれるのが「免疫」なのです!

免疫力の大部分は「腸」

免疫力が低下すると、感染症にかかりやすくなるだけでなく、症状が悪化するリスクも増えてしまいます。インフルエンザの場合は、免疫力の低下が原因で症状が悪化したり、呼吸器などの細菌感染症を起こしやすくなります。食べ物を消化、吸収、排泄する働きだけではなく、免疫力の大部分を担うのが腸なのです。つまり、腸内の細菌の働きを良くすることが、免疫細胞の活性化、免疫力を高めることに繋がります。

免疫力を高める(腸内環境)

腸内環境を改善するのに有効な食品は、「発酵食品」や「食物繊維」、「オリゴ糖」を多く含む食品です。また、何をというよりは「色々な食材を毎日摂る」ことが重要です。普段あまり食べていない食材を選ぶこともオススメです。【ヨーグルト】、【納豆】、【チーズ】、【漬物】など発酵食品には、「善玉菌」のエサが含まれています。【根菜類】、【海藻類】、【豆類】は同じく善玉菌のエサが含まれ、また腸を刺激して便意を促します。



腸内環境を整えて、今年の冬も健康に乗り切りましょう!



経理マンが行く

保険料

短い秋を終え、徐々に冬に向かい肌寒い日が多くなって参りました。私もこの寒さに喘息もひどくなり、朝晩はとてつらい時期です。皆様もどうぞご自愛ください。

さて先日、協会けんぽから「インセンティブ制度で、健康



保険料率の軽減を目指しましょう!というお知らせが届きましたので少し説明させていただきます。

まずインセンティブ制度とは、協会けんぽ47都道府県支部ごとに、加入者の方々の健康づくり等の取組を5つの指標で評価し、評価が上位の支部にインセンティブ(報奨金)を付与し、負担している都道府県ごとの健康保険料率に反映させる制度です。(取組結果は翌々年度の保険料率に反映されます。)

令和3年度の取組結果までは上位23支部に対してインセンティブが付与されていましたが、配分基準のメリハリを強化するため令和4年度以降の取組結果からは上位15支部にのみインセンティブが付与されることになりました。インセンティブを獲得するには、加入者の積極的な取組が必要です。ちなみに令和2年度の神奈川支部の順位は44位でインセンティブを獲得することが出来なかったようです。(令和3年の順位は年内公表予定です。)インセンティブを獲得し順位を上げるには

①協会けんぽの健診を受ける

①特定保健指導を案内され、必ず利用する。※健診結果で「生活改善が必要」と判断された場合に、無料で保健師や管理栄養士が健康づくりをサポートしてくれます。

②特定保健指導の対象にならないようにする。日頃から生活習慣に気を付けるとともに、必要に応じて早めに医療機関を受診する事が重要です。

③医療機関への受診を勧められた方は、必ず受診する。健診結果で「要治療(再検査含む)」の判定を受けた方は、医療機関を受診してください。

④ジェネリック医薬品(後発医薬品)を積極的に利用する。

以上の取組でインセンティブを上げることができます。



協会けんぽの健康保険料率は、都道府県ごとの医療費等に応じて設定されています。加入者の皆さまが健康になり、医療費が安くなることで保険料も安くなります。みなさま一人ひとりの積極的な取組で、「総合順位」を上げ、保険料を安くしていきましょう!

